

令和3年度地方創生推進交付金活用事業の実績について

1 交付金の概要

○名称

地方創生推進交付金

○交付金の概要

地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援するもの

○対象事業

先駆性のある取組及び先駆的・優良事例の横展開

・官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、中核的人材の確保・育成

<具体例>

しごと創生、観光振興、人の流れ（移住促進、地方創生人材の確保）、働き方改革（若者雇用対策、ワークライフバランスの実現等）、まちづくり（小さな拠点等）等

○財源

国の交付金（事業費の2分の1）

○事業実施数及び交付実績額

採択事業：4事業（うち2事業は、他市町との広域連携事業）

総事業費：66,388,625円

交付実績：30,893,204円

参考

○令和4年度事業実施数

採択事業：5事業（うち3事業は、県や他市町との広域連携事業）

計画額：90,409,000円

交付予定：45,204,000円

令和3年度地方創生推進交付金事業効果検証について

No.	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付決定額(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値	実績値	事業効果	今後の方針
1	山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」で育む観光圏域づくり <広域> (R1-R3) 観光政策課	【市の個性をつなげる一体的な取組体制構築事業】 博覧会の開催に関する実行委員会負担金 ○山口ゆめ回廊博覧会の開催(令和3年7月1日～12月31日) ○山口県央連携都市圏域(山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町)において、7つのテーマ(芸術の回廊、祈りの回廊、時の回廊、産業の回廊、大地の回廊、知の回廊、食の回廊)に沿ったイベント・展覧会・体験事業を211件実施 ○リアル宝探しゲーム等の周遊プログラムやトークイベントを7市町で実施 ○熱気球の係留フライトや洞窟探検ツアーなど18のイベントを美祢市で実施	30,077,862	13,237,843	交流人口(人)	17,050,000	12,301,248	地方創生に相当程度効果があった	事業の終了
		外国人観光客数(人)			304,000	8,117	評価	今後の方針の理由	
		観光消費額単価(円)			41,330	30,867	ゆめ回廊博覧会でのイベントや体験プログラム、プロモーションを7市町共同で実施することにより、宣伝効果も大きく、面としての観光周遊に繋がった。また、コロナ禍での実施のため、すべて予定通りとはいかなかったものの、広域連携のメリットを活かし、万全な感染対策を講じ、数多くのプログラムを開催できた。	-	
		参考_美祢市交流人口(人)			-	969,869			
		参考_美祢市外国人観光客(人)			-	10			
参考_美祢市外国人観光客(人)	-	10							
2	みね探求塾「挑戦のトビラ」展開による未来創生プロジェクト～未来は自分たちでつくるもの～ <単独> (R3-R5) 学校教育課	【10月に公設塾minetoを開設】 ○「知のトビラ」として、火、木、金曜にスキルアップゼミを5回延べ15日間実施しテストや受験のための勉強を自己実現のための学びとすることを目指した。また、水、土曜の授業前後には、自習をする通塾生の個別学習サポートを実施した。 ○「好奇心のトビラ」として、水曜に宇宙編、地球編、仕事編、音楽編及びスポーツ編を各4回実施した。各編の人生の達人の回では、外部講師を招いての授業を実施した。 ○「挑戦のトビラ」として、土曜に観光マッププロジェクトを日本航空(株)と(一社)美祢市観光協会との協働プロジェクトとして24回、協働ではないプロジェクトを火、水、木曜に内装プロジェクト11回、地域の人巻き込みプロジェクト12回、卒塾式プロジェクト15回実施した。 ○特別授業として、慶應義塾大学SFCインターン生による授業と県内の大学生をゲストスピーカーに招いての授業を各1回実施した。また、地域横断プロジェクト「ファミダス！プレコン2022」(公設塾運営会社主催)に3名が参加し、生徒が自分のやりたいこと、実現したいことを大人(スポンサー参加者)の前でプレゼンして共感してもらい、「やりたいこと、実現したいこと」の支援獲得のため、3か月にわたってこれに取り組んだ。	10,679,391	5,339,695	受講者数(通塾者数)(人)	30	36	地方創生に相当程度効果があった	事業を発展
		「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に肯定的な回答をした生徒の割合(肯定率)(%)			58.0	52.9	評価	今後の方針の理由	
		「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答をした生徒の割合(肯定率)(%)			61.0	58.0	一部の目標値が達成できていないが、これは評価指標の調査が開塾前であったことの影響もあった。この事業により本市の未来を主体的に考え課題解決を図ろうとする人材を育成することで、地域人材の育成にとどまらず、交流人口・関係人口の増加に資することができる。と考える。	今後は、公設塾に通塾が困難な生徒にも「好奇心を引き出し、挑戦する力を育む」プログラムを中学校へ出向いで実施し、美祢市の未来を担う人材の育成につなげる。	
		交流した他自治体の子供たちの数(延べ数)(人)			20	50			

令和3年度地方創生推進交付金事業効果検証について

No.	事業の名称	事業実績	総事業費(円)	交付決定額(円)	本事業における重要業績評価指標(KPI)	目標値	実績値	事業効果	今後の方針
3	美祢市健康百寿プロジェクト <単独> (R3-R5) 健康増進課	【がん教育】 ○市内の小中学校においてがん教育を実施 小学校 3校、中学校 3校	14,137,333	7,068,666	みね健康マイレージ参加者数(人)	50	75	地方創生に相当程度効果があった	事業を継続
		【疾病危険度予測システム】 ○疾病危険度予測システムの再構築 ○データ収集のためのアンケートの実施			健康ウォーク参加者数(人)	80	168	評価	今後の方針の理由
		【医学研究会】 ○本市に関する健康データの抽出 ○プロジェクト事業報告会を実施			特定健診の受診率(%)	40.0	32.7	健康関連イベントは、目標値を達成することができた。 健診については、コロナ禍による影響も考えられるが、イベント等での広報活動を継続して実施していくことで受診率の向上につなげていきたい。	研究母体として「生活・健康・福祉をDXで考える研究会」を設置し、事業効果とKPI達成に向けて、より効果的かつ効率的な施策展開に取り組む。
		【人材の育成・確保】 ○職員を対象とした、高度人材育成研修を実施 ○学術機関による人材育成を実施			仮説検証型地域保健施策推進のための分析・施策立案に取り組む高度人材(人)	1	1		
4	海・山・人が織りなす観光地の未来創造事業 <広域> (R3-R5) 観光政策課	【広域地域資源の再構築】 下関市・美祢市・長門市アウトドアツーリズム広域協議会負担金 ○令和3年7月5日(月)に総会を行い、令和3年度の事業方針を決定 ○令和4年度にジャパンエコトラック認定を目指し、3市での広域周遊ルートを設定	11,494,039	5,247,000	アウトドアスポーツ体験者数(人)	41,196	50,473	地方創生に効果があった	事業を発展
		【情報発信強化とアウトドアスポーツブランドの確立】 秋吉台カルストロードレース実行委員会補助金 ○令和3年9月12日(日)にJCL秋吉台カルストロードレースを無観客で開催 ○レースの様子をYouTubeにおいて生中継を行い、全国多くのお客様が視聴した			観光客数(人)	12,376,318	6,277,704	評価	今後の方針の理由
					宿泊客数(人)	1,422,816	945,979	コロナ禍で観光客数、宿泊客数が減少している中、アウトドアスポーツ体験者数は、増加しており、コロナ禍という環境に適応した事業展開を図ることができた。	下関市・美祢市・長門市アウトドアツーリズム広域協議会については、令和4年度に認定されたジャパンエコトラック者数及び周遊観光客を増加させ、美祢市の観光客数及び宿泊客数の増加に繋げる。 秋吉台カルストロードレースについては、令和4年度は有観客での実施を予定。令和5年度は国際レース化を目指し、事業効果の拡大を図る。
					参考_美祢市アウトドアスポーツ体験者数(人)	-	570		
					参考_美祢市宿泊客(人)	-	38,239		
合計			66,388,625	30,893,204					

備考 【事業効果の判断基準】

地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

【今後の方針】

事業を継続	コロナ禍においても計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する)
事業を発展	コロナ禍という環境に適応し、取組を更に発展させる
事業の改善	コロナ禍に伴い事業の効果が見込みを下回ったことから見直し(改善)を行う(または、行った)
事業の縮小	コロナの影響に伴い事業を縮小する
事業の中止	継続的な事業実施を予定していたがコロナの影響に踏まえ中止する(または、した)
事業の終了	当初予定通り事業を終了する(または、した)